

## No.16 健康づくりの推進<健康づくり> (健康福祉課)

### 令和5年度までにめざす姿

- 町民一人ひとりが健康を意識して健康的な生活習慣を身につけることで、健康寿命を延ばします。
- 健診の受診率の向上や健診後の保健指導の強化により、重症患者を出さない取り組みを進めます。
- 国民健康保険・後期高齢者医療の安定的な運営を図ります。
- 被保険者の健康維持・増進を図ります。

### 令和元年度にめざした成果

- ①40・50歳代の特定健診及びがん検診受診者が増えます。
- ②精密検診が必要となった方はみな受診されます。
- ③減塩の取り組みが進み、塩分摂取量が減ることで健診の血圧異常者が減ります。

### 令和元年度にめざした活動

- ①休日検診の実施や、魅力的な健診の周知方法について毎年内容を検討します。
- ②受診勧奨を強化します。
- ③精密検査対象者への訪問実施、受診勧奨、丁寧な説明を行います。
- ④食育プランを策定し、減塩事業を進めます。

### 令和元年度の成果

- ・40・50歳代のがん検診受診率は、胃がん検診139人(前年度117人)、大腸がん検診229人(前年度101人)、肺がん検診169人(前年度126人)と増加しています。

### 令和元年度の問題

- ・40・50歳代の特定健診受診率は9月中旬で25人(前年度61人)です。検診は12月末までで、今後休日健診も予定されているため、終了後に休日健診の実施を予定していますが、伸び悩んでいます。
- ・精密検診に関しては2人/21人実施しておられます。

## 令和2年度以降の方策

### (1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ・健診受診を促す周知方法や媒体の検討を行います。
- ・受けやすい健診の検討(休日健診、米子市医療機関との委託)をします。

### (2) 解決すべき問題への方策

- ・時期はずれていたとしても、きちんと評価をして翌年度事業へ反映します。
- ・新たに健康づくりに関する参加状況を指標にして、めざす姿を実現します。

### (3) 新たに取組む方策

- ・30歳代へ便によるピロリ菌検査を実施し、40歳代からの胃がん検診への関心を高めます。
- ・肺がん検診をさいはくJAまつりで実施します。